

じどうせいと ほごしゃ みな 児童生徒・保護者の皆さんへ

いつもより短い夏休みが終わり、新学期が始まった児童生徒の皆さんに伝えたいことがあります。

新型コロナウイルス感染症が広がってから、今までと違う毎日に、皆さんはたくさん
の不安を感じていたのではないのでしょうか。そのような中でも、多くの方々が、皆さんが
困らないように働いてくださっています。

しかし、残念なことに、SNSなどでは、そういった方々やその家族、そして感染症
にかかって苦しんでいる人に対して、心ない書き込みなどが起きています。

皆さんが自宅や学校で感染予防を徹底しているにもかかわらず、身近な場所での感染
の話を知るようになると、自分の周りの人の感染を疑うようになることがあるかもしれ
ません。新型コロナウイルス感染症への不安や恐れが、偏見や差別につながります。

皆さんには、差別的な言動には同調せず、適切な行動をとることができるよう、伝え
たいことやお願いしたいことが4つあります。

- 新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があり、感染した人が悪いということでは
ありません。
- 感染した人が悪いという雰囲気ができ、感染したことを言いだしにくくなると、さ
らに感染が広がってしまうかもしれません。
- 感染した人を責めるのではなく、励まし、治って学校へ戻ってきたら、温かく迎
えましょう。
- 皆さんは、今、自分ができる予防をしっかり行い、日々の学びを続けてほしいと思
います。

今こそ、新型コロナウイルス感染症について正しく理解し、もし自分が感染したら、
周囲の人にどうしてほしいかということを考えて行動しましょう。

保護者の皆様も、お子様と一緒に読むなどし、ともに考えてくださいますようお願い
いたします。



埼玉県マスコット
コバトン&さいたまっち

令和2年8月

埼玉県教育委員会教育長

高田直芳